



おらが湊鐵道応援団報

第46号

勝田 | 阿字ヶ浦

270名があじがうら号で初詣・初日の出



元日の早朝、初詣・初日の出列車として3輛編成で運行された「急行あじがうら号」は昨年をさらに上回る270名のお客様で満員になりました。

勝田発の車内では、特製福袋が配られ、みなと源太さんの車内ライブも。阿字ヶ浦駅から磯崎灯台へ向かう途中、堀出神社と酒列磯前神社に初詣しました。

水平線に雲があり、初日の出は予定時刻から約20分遅れましたが、氷点下の中で待ち続けた参加者からはその瞬間、歓声があがりました。津田から家族で初めて参加したという男性は「大勢で迎える新年も素敵ですね」と話していました。

妻との出逢いは湊線

リレー随想

中根 大塚常衛さん

いま私は現役を引退し年金生活をしています。

私の成長は湊線とともに歩んできたと思います。子供の頃湊線を見るのが大好きで、列車が阿字ヶ浦駅を出発するとき警笛を鳴らすので、弟と一緒に家から飛び出して近くの湊線が見えるところまで出かけて行きよく見ました。また、休みのときは磯崎駅の貨物引き込み線に貨車が止めてあり、荷物の積み下ろしをしている所で貨車にぶら下がったりしてよく遊んでいました。



小学生の頃は家の手伝いで畑へ芋ほりに行き、一日中のんびり行ったり来たりする湊線を見るのが好きでした。大人になったら湊線で水戸の方へ勤めて毎日乗ることを夢見ていました。

夢は少し早くかなって、高校生として湊線に毎日乗ることができるようになりました。雨の日、風の日、列車に飛び乗ったり、乗り遅れたりいろいろなことがあり通学も楽しかったです。

高校を卒業し、念願のサラリーマンとなり水戸の会社勤めも決まり、湊線に引き続きお世話になりました。そんな通勤の中で出逢いがありました。それは妻との出逢いです。今は7人の孫に恵まれ、5歳の孫に電車に乗りたいたとせがまれ、孫と乗車する時が楽しみでもあります。

車社会となり、車に乗る人は大変便利になったが、お年寄りや学生等は鉄道・バスといった公共交通機関はなくてはならないものです。市民の足として地域住民の協力でひたちなか海浜鉄道を盛り上げて行きたいものです。頑張れ湊線!!

わたしの湊線あれこれ

阿字ヶ浦町 黒澤克明さん

- 堀出神社の鳥居北側に湊鉄道阿字ヶ浦延長記念の碑がある。湊鉄道は大正2年に開業されたが、区間は勝田から那珂湊間。大正13年に那珂湊からの延長がなされたが磯崎まで。阿字ヶ浦までの延長がされたのは昭和3年。記念碑は延長を祝す碑として同年11月に建てられた。駅名も阿字ヶ浦駅としたことから、それまで、前濱テント村、前濱海水浴場などと呼ばれていた海岸も阿字ヶ浦海岸となり後の阿字ヶ浦海水浴場の発展をみることになったのである。
- 私の好きな音で、早朝、新聞配達人が新聞をポストに入れる時のポトンという音と湊線の始発・終電車の発着時の音がある。寝床の中で聞くと「今日も一日が始まる、今日も無事一日が終わったな」と自分に言い聞かせる時がある。
- 最寄り駅から1、2分のところが住まいであることから、日々車両の発着時に聞こえてくる音、乗降客の飛び交う声など湊線を肌で感じてきた。海水浴客を乗せた列車から降りた乗客たちが前面に現れた海を見て「ああ海だ、海だ」と歓声を上げていたことが今でも耳に残っている。小学校低学年時代、駅前広場は遊び場の中心だった。高校から昨年3月の定年退職まで優に40数年湊線にお世話になってきた。
- 通学・通勤時は必要にかられた乗車であったが早朝、沢メキ付近の海に昇る朝日の眺め、田植えのすんだ田、稲穂の実った田を窓外に見る沿線風景、身体に響く走行音のリズムの中での読書、知人と偶然出会っての語らい、疲れているときの心地よい睡眠等、約26分間の移動自体を楽しんでいる自分がたびたびあった。
- 湊線存続の危機が浮上していた平成17年、湊線の乗客として真に気の重くつらい日々だった。幸い市・県などの支援や多くの市民に支えられひたちなか海浜鉄道として存続できたことが、私の湊線はいま、これまで以上にマイルール意識を強くしている。

原稿募集 ※リレー随想の原稿を募集しています。字数は600字程度。思い出の写真もありましたら、併せてお寄せください。

がんばれ受験生 「合格」列車運行中!

今、五角(ゴーク)形のヘッドマークを付けた列車が運行されています。ヘッドマークは「合」と「格」がひと文字ずつ書かれ、上りと下りの列車が交換する那珂湊駅と金上駅でのみ「合格」に出会えます。これを見るのはなかなか大変。見かけたらきっと合格です!



硬券フリー切符付湊線応援券 冬バージョンは2月末に販売終了します

12月より湊線応援企画として販売を始めた「湊線応援券」と「特製湊線硬券1日フリー切符」の冬バージョンが、2月末で販売を終了します。価格(入会金)は、応援券200円とフリー切符800円の合計1,000円。四季毎に異なるデザインで、4種類の応援券を集めて那珂湊駅に呈示すると素敵なプレゼントがもらえます。発行は那珂湊駅窓口と勝田駅湊線改札。硬券フリー切符の利用期限は発行日より1年以内で、平日でも利用できます。3月より春バージョン切符(A型硬券)と応援券に切り替わります。ぜひお買い求めください。



冬バージョンの硬券フリー切符(D型倍寸)と湊線応援券

今年もやります! MMM

スタッフが活動報告会

昨年夏、湊線と商店街を中心に展開されたアートイベント「みなとメディアミュージアム(MMM)」の活動報告会が1月9日、ひたちなか商工会議所本所で開かれ、市内外から20名の参加がありました。報告によると「那珂湊駅からお魚市場へ方向だけだった行楽客の流れが、商店街のアート作品へと多数回遊した」「古い建物や蔵にも行楽客の視点が向いていた」などが音声や写真データ解析で確認されたといえます。

今後はイベントスタッフに夏休み中の地元学生らの応援も得て盛り上げていきたいと、今年の夏への意気込みを語りました。



各駅の清掃ありがとうございます

毎月第一日曜日 8:30~8:50に実施中!

駅名	2月	3月	4月(予定)
中根	柳が丘・柳沢美田多・相金自治会		
那珂湊	釈迦町 幸町 湊泉町	田中町・小川 龍之口町 関戸町	神敷台 部田野小谷金 十三奉行
殿山	和田町・殿山町	七丁目・牛久保町	和田町・殿山町
平磯	平磯・平磯清水町自治会		
磯崎	磯崎町自治会		
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会		

湊線に乗車したら「乗車証明書」をご利用ください

★湊線特典サービスは、湊線に乗車の際に、那珂湊駅または乗務員が発行する「乗車証明書」(当日限り有効)を店舗に提示することにより各店独自のサービスが受けられます。
★那珂湊・平磯・阿字ヶ浦地区の宿泊施設…「宿泊優待サービス」
★おさかな市場・本町通り商店街ほか…「お買い物サービス」など。
便利な参加店名簿を随時更新中!



募集 あなたも応援団スタッフに!!

那珂湊駅サービスステーション 銀色に輝く! ミニ鉄道博物館
ギラリー(カ)601
◇場所 湊線那珂湊駅 (ギラリー601は日曜日のみ開館)
◇活動時間 9:00~15:00 (毎週土日 午前・午後3時間程度)

応援団ホームページもご覧ください

応援団HPからツイッター(@keha601)も見られるようになりました。
◇Twitter <http://twitter.jp/keha601>
◇応援団報 パソコンから「湊鐵道応援団」→団報(ダウンロード)からご覧下さい。
web <http://minatrain.wordpress.com/>
web [検索](#) [おらが湊鐵道応援団](#) アドレスが変更されました

